

災害時に生きた“地域力”

座談会

8月9日で、あの台風9号による豪雨災害から1年が過ぎました。

今号では、被災住民への対応や行政との連絡、ボランティアの受入れなどを調整された比較的被害の大きかった3自治会の自治会長さんから、災害時の状況をお聞きするとともに、これからの地域づくりについて語っていただきました。



つるさき かずひろ
鶴崎 和宏
【進行役】 宍粟市社協会長



やまもと たかのり
山本 高則さん
山崎町 田井自治会長



やまき もりお
山木 守男さん
千種町 下河野前自治会長



あきたけ あきよし
秋武 明良さん
一宮町 上岸田自治会長

未曾有の豪雨災害！ あの時の対応は？

鶴崎 災害が起こったときの状況をお聞かせ下さい。

山本 消防団員と揖保川を見に行き、夜中でしたが放送で各戸にお知らせしました。

田井では北部と一番南部の地域が被害を受けましたが、すぐに南部の人から「水が来ている。助けてほしい」と電話が入りました。

2階で待っているようにと指示をしました。2階で待っていると指示をしました。また隣近所に電話をかけてお互い元気であることを確認し、不安を解消するように頼みました。

明け方には水がひいたので、南部の人は神野小学校体育館へ避難をはじめ、婦人会が神野コミュニティセンターで炊き出しを行いました。

10日の朝に南部への復旧応援を呼び掛けたところ、38人が動いてくれました。また14日には復旧活動のため、全世帯に出役をお願いしました。

人的被害がなかったこと、電気

や電話が通じていたこと、お互いに情報を共有できたのがよかったと思います。

山木 8月9日は家の前の千種川の水が多いなと思っていました。消防から自主避難の指示があった時には驚きました。

堤防から水が越えて、自治会全体が水に浸かっているという状況でした。

携帯で各組長に住民の無事を確認するよう指示したところ、幸いすぐに確認ができました。そこで公民館に避難するかという判断を求められましたが、あれだけ水が出ている状態だったので、避難する時は、複数で公民館まで行つて下さいと伝えました。また安全な家があればそちらへ避難するようお願いしました。

ともかく早く夜が明けられないかな、と思っていました。

鶴崎 上岸田は、自治会で災害対策本部を置かれました。市の方でも高く評価しておられます。そのあたりをお聞かせ下さい。

秋武 8月9日は夜の10時半に消防団員から「えらいことになっているから見に来てほしい」と言